



2022年9月9日

各 位

会社名 クロスプラス株式会社
代表者 代表取締役社長 山本 大寛
(コード番号3320 東証スタンダード・名証メイン)
問合せ先 取 締 役 白木 規博
(T E L 0 5 2 - 5 3 2 - 2 2 1 1)

第2四半期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向等を踏まえ、2022年3月11日に公表いたしました2023年1月期第2四半期連結累計期間の業績予想につきまして、下記のとおり修正をいたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2023年1月期 第2四半期連結累計期間 業績予想数値の修正

(2022年2月1日～2022年7月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	27,000	△300	△200	△200	△27.27円
今回修正予想 (B)	26,131	411	569	847	115.55円
増減額 (B-A)	△868	711	769	1,047	—
増減率 (%)	△3.2%	—	—	—	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年1月期第2四半期)	28,684	217	374	227	31.09円

2. 修正の理由

当第2四半期連結累計期間のアパレル業界は、行動制限の緩和による人流回復に伴い商業施設の集客が回復したことなど良化傾向が見られているものの、原材料費の高騰や、円安に伴う仕入原価の上昇など厳しい外部環境が続いております。

このような環境の中、当社グループは、利益重視の事業転換を進めてまいりました。

売上高は、非衣料品が減少したことや、低単価商品の取り扱いを減らしたことで、計画を下回る見込みとなりました。

営業利益は、アパレル小売の粗利益率が改善したことや、物流費や固定費を削減したことなどで計画を上回る見込みとなりました。また、当期純利益は、投資有価証券売却益や固定資産売却益を特別利益に計上すること等で、計画を上回る見込みとなりました。

以上の結果、売上高は計画を下回る見込みとなったものの、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、計画を上回る見込みとなりました。

なお、2023年1月期の通期連結業績予想につきましては、円安や原材料費の高騰などの仕入価格の上昇や、販売管理費の増加影響を織り込み、2022年3月11日に公表いたしました予想数値から変更はございません。

※上記の業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績については、今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上